

カトリック六甲教会²⁰¹⁷ 教会報 10

No.550

インターネット利用問題とキリスト教

第4回 神様助けて！

群馬大学名誉教授 下田 博次

今から20年も前に、インターネットという新種のメディアの本質、魅力をズバリ言い表した人がいる。ピッツバーグ大学の臨床心理学者であるキンバリーヤング博士が、その人だ。博士は「ネット中毒」という本を書き「インターネットはマインド・スリルという快感を与えるメディアで、中毒性もある、特に大学生が危ない」と警告した。マインド・スリルという英語を日本的にわかりやすく言えば「ワクワク、ドキドキ、ヒヤヒヤする心の高ぶり、高揚感」のことである。

キンバリー博士の学会報告に続き、米国ではJC ハーツというハーバード大・女子学生の「ネット中毒者の告白」という本が話題になった。彼女は、地球を瞬時に駆け回る電子メールやチャット機能付き対戦ゲームの面白さとか、サイバー・セックスのワクワク感などを「七色の味がする精神のキャンディ」と表現した。その報告には、新種の情報メディアが一種の麻薬的快楽感を脳にもたすことが暗示されていた。JC ハーツの報告の特徴は、アルコール中毒ならぬネットの快楽情報の中毒的過剰利用の副作用に関する体験的な報告にある。

そこには今日のネット中毒治療者の共通認識、「すなわちネットの快楽情報に魅せられ、取りつかれた人は異常な長時間の利用が当たり前となり、睡眠障害から頭痛、吐き気を覚え、そこから日常生活の狂い、さらに人格の破壊に及ぶ」が体験報告されていたのだ。



実施にJC ハーツは、眠りたいのに眠れず、食事もろくに摂らず落第寸前の苦しみに陥った。そしてついには、「これはサルトル的（虚無の）地獄だ」と叫び、「神様助けて！」と言うようになる。

彼女くらいの中毒段階では、自力回復は難しい。なのに、神様に声が届いたのかネット絶ちができ、本まで書けた。

ハーツほどの理性、知性、自制力もない我が国の50万人を超す重度のネット依存の中高生達は、どうなるのか？日本のネット中毒化は、今や大学生から児童、幼児にまで拡がろうとしているのだ。



ナルドの花たより

若者の皆さん、将来のことを恐れず、あえて大きな夢を抱き、喜びを絶やさないでください。喜びは、若者の心が主に出会っているしるしなのです。

Dear young people, do not be afraid of the future! Dare to dream big! Keep joy alive, a sign of a young heart that has encountered the Lord. (2017年9月7日)

イエスがわたしたちの生活の中心を占めれば占めるほど、イエスはわたしたちを自分の殻から外に出し、周りの人々のより近くへ連れて行きます

The more Jesus occupies the centre of our lives, the more He allows us to come out of ourselves and brings us closer to others. (同年9月17日)

貧しい人、難民、現代的形態をとる奴隷制度の犠牲者を支援する具体的解決策を見つけ、平和を推進するため、ともに働きましょう

Let us work together to find concrete solutions to help the poor, refugees, victims of modern forms of slavery, in order to promote peace. (同年9月19日)

カトリック中央協議会 教皇フランシスコのツイート (邦訳) より



2017年度第四回地区役員会 (2017年9月3日) 議事録

アルフレド主任司祭、各地区役員

- 1 壮年会・婦人会主催バーベキュー 9月17日(日) 10時ミサ後 (林壮年会会長)
- 2 チャリティバザー (11月12日) (チャリティバザー企画チーム)
- 3 教会大掃除 (教会大掃除チーム)
- 4 納涼の夕べ8月19日(土)について
次回地区役員会 11月18日(土) 教会大掃除後開催

.....

<行事報告>

音楽奉仕者の集い (7月15日)

現在六甲教会では17名の方がオルガン・独唱の奉仕をしています。普段はそれぞれが個別で練習し、奉仕のために準備をしています。

そこで音楽奉仕者の集いでは自分を見直す機会になれば、と実技を中心に行いました。今回の集いには奉仕者のうちの8割が出席。それぞれが当番で担当する日の答唱詩編を前もって練習して集まりました。

そしてミサと同じように、オルガンと独唱がペアになり、実際にマイクを使って歌い、みんなで聴き合いました。オルガンは会衆が歌いやすい伴奏を心がけ、独唱は詩編の言葉をしっかり伝えられるように、またお互い息を合わせることなどをポイントに何度も繰り返し

返し、限られた2時間という時間はあっという間に過ぎました。

参加者からは、「今回の練習で自信をもって次回の奉仕に臨める」また「立ち止まって自分を振り返り、きちんと確認する機会をもてた」という感想も聞かれました。

音楽奉仕は典礼に直接かかわる奉仕です。お互いを理解し、切磋琢磨する場をもちながら、今後も奉仕に携わりたいと思える充実した時間でした。

(音楽チーム オルガン奉仕者 清水)

～～～～～

<行事報告>

三日月会総会 (9月18日)

今日は午後1時から「三日月会の総会」があった。毎年敬老の日に行われるが、今年は130人近くの高齢者が来られ、まずアルフレド主任司祭司式のごミサに与る。ミサの中で4人の洗礼式が行われたが、いずれもご高齢で即、三日月会会員の登録となった。その後は場所を換えて「総会&懇親会」が行われたが、90歳以上の方も数名参加され会場は賑やかな交流の場となった。

現在、六甲教会の「三日月会」会員は570名あまりで、信徒数の3割強を占める大きな勢力となっている。ただご病気や家庭の事情で参加できない方も多いが、これから高齢化が進むにつれ、新会員数はしばらく増え続けるだろう。

今日の余興では「混声合唱団」が歌をお聞かせしたが、今回のメンバーは当然、三日月会メンバーがほとんど。総会&懇親会の準備するのもシルバーで、お互いにお互いの敬老を祝う会となった。お土産には神戸名物の瓦煎餅をいただいたが、その煎餅には「敬老」「六甲教会」の刻印が打ってある特注品だった。

70歳はまだ「三日月会員」でないと思われている方々も、これからどんどんこの会に参加してください。

(三日月会会員 蛭田)



～～～～～

《各部だより》 各専門部会の活動をお知らせいたします

📖 小教区評議会

10月 8日(日) 12:00

📖 典礼部

10月21日(土) 典礼部会

📖 教会学校

10月28日(土)～29日(日) 練成会

10月29日(日) 12:00 施設管理部会

📖 広報部

10月28日(土) 教会報11月号印刷

📖 地区会

10月29日(日) 11:30 バザー委員会

📖 社会活動部

10月 6日(金) 初金ミサ後
第2回社会活動部連絡会議(第2会議室)

📖 施設管理部

2017年2月7日 大阪城ホールにて举行された列福式ミサの公式記録集

- ☆ **DVD ユスト高山右近 列聖へ向けて** — 揺るぎない信仰に根ざした生涯 — NHK制作
今春列福されたユスト高山右近の時代と生き方を20分の映像にまとめたもの。貸出しますが、非売品であり、コピーは不可。
- ☆ **いつくしみとあわれみ 〈慈悲〉** 日本カトリック司教協議会 諸宗教部門
— 諸宗教における日本人の心 — のテーマで2016年金沢でのシンポジウムの記録 —
カトリック 神道 仏教の権威と 日本での宗教の意味を探るシンポジウム
- ☆ **イエスのおかあさんマリア** — わきたあきこ 文 やのしげこ 絵 女子パウロ会
やさしく つよい マリアさま。わたしたちをまもってくださるマリアさま。
- ☆ **むらさき花だいこん** — 大門高子 文 松永禎郎 絵 新日本出版社
人間として生きるのに忘れられないことがある。忘れてならないことがある。中国の大地南京から持ち帰った花 むらさき花だいこん — 野の花にこめられた戦争の悲しみと平和への決意 — 子どもからおとなまでいっしょに読んで欲しい。
- ☆ **宿題の絵日記帳** — 父が描いた家族の風景 — 今井信吾 リトルモア
聾話学校に通う娘のために、父が描いた日々の記録(絵日記)。高度難聴のやんちゃ娘が、やさしさに包まれて、すこしずつ言葉と声を獲得していく。

◆ 聖歌隊だより ◆

芸術の秋。音楽の秋。

聖歌隊では日ごろの聖歌練習に加えて、クリスマスの練習を始めました。聖歌隊は毎年12月23日に行われる「クリスマス音楽の集い」の中で、クリスマスキャロルを披露します。1年のうち、特別なこの時期にしか歌えない曲を、皆様も一緒に歌いませんか？合唱未経験の方、楽譜の読めない方でも大丈夫、発声の指導もいたします。一緒に声を出して聖歌を歌ってみたい方、新しく聖歌を覚えたい方、老若男女問わず大募集中です。

下記の練習日に直接お越しいただくか、聖歌隊隊員までお声掛けください。

また、結婚式、ご葬儀関係の奉仕だけのメンバーも常時募集しております。式で使用する聖歌は、耳なじみのある簡単な曲ばかりです。聖歌隊員に登録していただければ、教会連絡網と別に聖歌隊連絡で、冠婚葬祭のお知らせをします。空いている時間、可能な時間だけで結構です。ご一緒に奉仕しませんか？ 聖歌隊員一同心からお待ちしております。

【 10、11月の練習 】

ミサ前練習 主日ミサ 9:00~9:30 その日のミサで歌う曲の予習 (但しバザーの日は休み)

定期練習 10月7日(土) 10時~12時 イグナチオホール

15日(日) 11時15分~12時半 主聖堂

11月4日(土) 10時~12時 イグナチオホール

19日(日) 11時15分~12時半 主聖堂

26日(日) 11時15分~12時半 主聖堂

お問い合わせ先 聖歌隊代表 清水





秋の黙想会



～キリストのおんからだ～

司教団の二つのメッセージの視点から

2017年10月14日(土) 10:30～15:00
(14:15よりミサ)

場所：カトリック六甲教会 主聖堂
指導：梶山 義夫 神父 (イエズス会)

※ 昼食は各自ご持参ください



祈りと音楽の集い

～オルガニストメルカールト氏を迎えて～



2017年10月29日(日)
開演：午後2時(開場：午後1時30分)
場所：カトリック六甲教会 主聖堂
入場無料

ご存知ですか？

主たるバザー献金先



継続は力

① アジアの平和の礎に

東チモールの将来を支える子供たちの育成に「東チモール聖イグナチオ学院」の教育活動をイエズス会を通して支援しています。

今年は特に里親制度に似せて「学資応援制度」による支援の要請もあります。

② 大阪教区での絆によって

1900年代の後半に釜ヶ崎の子供たちへの支援から始まった活動は、いろいろな変遷を経て2015年「NPO こどもの里」として受け継がれています。

③ 「神戸地区のつながり」によって

神戸地区のカトリック教会は共同で社会活動を行っています。その活動の中心は神戸中央教会の社会活動センターであり、神戸地区評議会のメンバーの総意によって運営されています。

寄付先をインターネットで検索し、その活動をご確認下さい。



～ 教会事務所休み ～
10月9日（月）体育の日

教会報 11月号の発行は、10月29日（日）です。
原稿は10月15日（日）までに教会受付へご提出
ください。FAX 及びメールでも受付いたします。

（広報部）

<http://www.rokko-catholic.jp>

カ	ト	リ	ッ	ク	六	甲	教	会
〒	6	5	7	-	0	0	6	1
電	話	0	7	8	-	8	5	1-2846
F	A	X	0	7	8	-	8	5
発行責任者	アルフレド・セゴビ							
編集	広報							部